紅糧價錢五吊四百文至五吊
象牙共上車三十餘輛
共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一フールスカップ 全 一圓
一中判洋紙 全 四圓
一半紙 百枚 二圓
一罫紙 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一龍筒
一卓子
一卓子掛
一厨房用戶棚
三十圓以上四圓五十錢以上三十五圓
四圓五十錢以上十二圓
六圓以上十三圓五十錢
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料 一ヶ月以內每行十五仙乃至十仙
一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

告示

大日本帝國營口監督與 爲
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示
右諭通知
明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲立積金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫勳 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼陽俱樂部 谷口今朝太郎

三井洋行
倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八番)
●精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陂鞋表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五 西店一二

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 業亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房營事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稔交厚並與各省南北客經理有年誠信相孚週通知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北警乙第十三號

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(搖利)百合花牌(利利)均已馳名內外兹特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

三井洋行經理
明治火險公司
本公司開立己久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議 (電話六十六番)

生徒募集
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し屢に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
東營口郵便局東隣
松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

●島田洋服店● 新民屯停車場前
●同支店●

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任產婆大道しげ子)
院主 森 孀
醫長 鈴木昌平
營口永世街 (電話一五五番)

營口永世街第一八四號平野町
材木 荒物 販賣
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

和泉洋行

營口商業學校招入學生
宗旨 造成辨公實業家
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額 五十名
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿生自備饌食餘皆本校墊辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成效玆因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設己歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書藉各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

●雜貨卸小賣商 附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街
東洋號

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物產合名會社 牛莊支店 (電話六十六番)

東清鐵道 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專辦中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人周鶴雲
運輸局主任高濱麟太郎謹啓

電氣諸機械
大販賣
本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部 (電一五四番)
主任 朱牟田寅吉

自造煉瓦●瓦並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組 (電話八十六番)

東京電報

●**參謀總長と臺灣總督** 陸軍大將兒玉源太郎男は參謀總長となり臺灣總督の後任は陸軍大將子爵佐久間左馬太氏に決定せりと

●**滿洲鐵道の連絡** 滿洲鐵道統一の爲め軍用輕便鐵道の軌道を改修して東清撫順の各鐵道と連絡せしむる筈なり（以上三月十三日發電）

鐵嶺電報

●**凱旋軍隊輸送結了** 凱旋軍隊輸送結了し本日より鐵道の普通營業開始を爲せり（三月十三日發電）

倫敦電報

●**二名士の關稅問題意見** バルフオア、チエムバーレンの兩氏は次の月曜日に議會に於て關稅問題に關し意見を述ぶることに決定せり

●**露國の堰水運河開鑿同意** 露國政府は米國資本家の計畫に係るリガ、クールソン間堰水運河開鑿の設計に同意せり

●**婦人の參政權と英首相** 婦人參政權を主張する婦人の群衆は昨日首相バンナマン氏の邸宅に押寄せ面會を求めしも首相は之れを拒絕し巡査をして群衆を解散せしめ三名を拘引せしか其後注意を與へて放免せり（以上三月十日發電）

●**銀行問題の和衷的解決** アルジエシラス會議はモロッコ銀行問題に關し和衷的解決を得たり、

●**佛新內閣の組織者** 佛國內閣總辭職の結果サリアン氏は新內閣組織の任に當れり

●**炭坑爆發の慘狀** 佛國コーリエル炭坑に於て腐敗瓦斯爆發の爲めに一千二百十九名の死者を生し空前の慘狀を現出せり二万五千餘の群衆は我先に坑邊に馳せ集り良人若くは父子兄弟の安否を探り居れり坑道深く地底に入り加ふるに有毒瓦斯充滿せるを以て救助最も困難なり遺族に對して義捐金を申込む者頗る多し佛國政府は斯の慘事に對して五十萬フランの支出を議會に請求する筈なり（以上三月十一日發電）

雜報

●**二年兵制と經費** 陸軍當局者間には勅令を以て步兵を二ヶ年間の兵役年限にて歸休せしむることに決定したる由なるが右に關する經費增加の理由なりと云ふを聞くに兵士の敎育に要する年限は是非共一ヶ年を要するが故に從來一ヶ年を敎育年限とし二ヶ年を以て實務年限となしたるを今回二ヶ年にて歸休せしむるとせば實務に從事すべき兵士の數に不足を告ぐべければ是非とも各中隊に於ける從來の員數に十二名乃至十七名を增加せざるべからずと云ふに在りて若し各中隊に十七名の兵員を增加すとせば各師團を通じて經費約三百六十萬圓を要すべき計算なり而して政府は步兵に限り最後の一ヶ年を歸休せしむることには贊成するも徵兵令を改正して步兵の年限を二ヶ年とするは他の兵種との關係上不公平を免れざるより此の點に就ては同意し難しといふにありと云ふ

●**南清騷擾事件** 南清の騷擾事件に就ては外人は船に避難し住民は海上よりの砲擊を恐れて郊外に遁るゝ等の報あり隨て外人間には殊に憂慮を抱くもの多きも今回の騷擾は加特力の宣敎師が江西省の南昌知縣を刺殺したる結果支那人の激昂を速されたるに基き同地に於ける前來よりの二三騷擾事件とは毫も聯絡する處なく此事件單獨に特發し從て根底を有する主動者在るにもあらざれば彼の團匪事變の如き大事件を釀すに至るべくもあらず米國にては彼の米品排斥事件と結び若け過大の危懼を抱き居れるは事の眞相を解せざるに因るべく殊に日本人の敎唆と云ふが如き浮說に耳を貸すが如きは其最も誤れるものなりと外交界にては云へり

●**專任外務大臣** 西園寺首相の外相兼攝は單に一時の事に止まり早晚專任の外相を置かるべきと勿論なり其後任者に就ては原內相は官邊の閲歷一に外務に在るを以て之れを外務に移して內務には別に山縣系の人物を選任せらるゝならんとの說もあれど今日の處原內相の居据りは的確なるが如し然らば西園寺首相意中の候補者は何人なるぞと云ふに第一は青木子、第二は林子なれども此二子ともに大使を拋つて外務に入るを好まざるべし第三には珍田次官を昇任せしめんとの意向なきにあらずと雖も今の外務部內には珍田氏と同輩の人多きを以て部內を統馭すると困難なるべしとて是れ亦た六づかしかるべき模樣なり第四は都筑馨六氏なるが氏は加藤氏の如くに圭角多き人なれば閣內の折合上如何にやとて多少二の足を踏み居れる氣味あれども既に山縣侯の嗣子を容る豈に井上伯の駙馬を入れざるべけんやとの論鋒にて終に都筑氏の入閣を見るべき形勢なりと噂せらる

●**燕京短信** 三月九日 特別通信員

▲露淸會議の再開始 昨日（八日）午前九時半余は唐紹儀氏が淸國大官二名と共に露國公使館に入るを見たり久しく中止され居りし露淸會議再び開始せられしものと信ぜらる

▲露國の鐵道敷設野望 前日外務部は露國か吉林省阿勒楚喀（哈爾賓の東數里の地）より吉林省城に到る鐵道布敷に着手せりとの情報に接したるを以て取敢ず吉林將軍に取調を命せしに未た工事に着手せるの形跡なきも既に測量を終へ居る者の如し其野心計るへからさる者ありとの返電ありたり

▲商部と陝甘兩省鐵道 陝西甘肅兩省の大官は商務部と相談し兩省名望家中より二三名の代表者を公舉して將來同省鐵道布設に關する一切の權限を賦與し速に鐵道布設の實行を期せんと着々運動中なり

●**滿洲近事**

▲吉林將軍更任說 近來北京官場の噂なりとて傳ふる所に依れは今回胡侍郎出て丶山東に巡撫と爲り現任楊巡撫轉して吉林將軍に任せらるへしといふ然れとも信僞未た遽に保し難し恐くは巷說に止まらんか

▲奉天の商務總會 奉天の商務を振興せん爲め今回趙將軍監督の下に商務總會を設立することに決定し奉天と密接の關係を有する淸國內各商務總會へ對し自今相聯絡して商務の發達を圖らんとを照會せりといふ

▲淸露協商と周冕氏 淸露協商行惱みの結果として淸國政府は前の哈爾賓商工局及び工務總局に總辦たりし周冕氏を參考人として會議に列席せしむること爲りたる由なるが同氏は在任中李聘三と結托して露國と礦山鐵道森林に關する密約を締結したる男にして日露開戰後は賣國奴と稱せられ官職を褫奪せられて天津に屛居せるか這次の淸露談判中露國の提議は多く周冕密約に關すと雖も淸國政府毫も與り知らさるを以て斯くは參考人として列席するに至れるなりといふ

▲北洋軍の馬賊討伐 關外一帶は由來馬賊の猖獗甚しく之を討滅すること至難の地方なりとす近時同地方の馬賊は再び蠢動を始め居民行旅者に危害を加ふること頻々たれば曩に關外守備の爲め派遣せられたる袁世凱の北洋軍第三鎭翼長段氏は部下の馬隊一聯隊及步隊一聯隊を以て馬賊討伐軍と爲し各地に派遣して鎭壓に從事中なりと云ふ因に淸國は錦州に大兵營を建築中なるが今後は同地を以て師團所在地と爲す筈なりといふ

▲錦州近狀一斑 最近錦州よりの報道に依れは目下同地の景況左の如し▲目下北洋第三鎭の砲兵駐屯し居れるを以て馬賊は暫く其迹を匿し同地方一帶頗る安寧なり▲錦州一帶の地石炭の產出甚た多く現に商人の北京に赴き商部に採掘を出願する者極めて多し▲錦州の學堂は僅に四個所に過ぎす而して其半は官立にして紳士の新學を攻むる者誠に寥々と爲す

●**撫順炭坑の近況**（村上亨一氏視察談の一節）

▲炭坑の使用苦力數 目下撫順の炭坑は五人の苦力を以て一組と爲し其れを七十組づゝ即ち三百五十人の苦力を晝夜に區分し晝間に於て甲の七十組を使役すれば夜間に於ては乙の七十組を使役する如き方法にて總体の苦力約一千人を晝夜交代に使用して採掘に從事しつゝあり

▲目下の一日採炭量 以上の苦力に依りて採掘せらるゝ昨今一日の炭量は九百噸位なるか現時の狀態に於ても百二十組位の苦力は使用するに足ると云へば今日に於ても苦力さへ增加せは每日二千噸の石炭は採掘するを得へき道理也

▲將來經營上の注意 若し夫れ將來に於て規模を廣大にして方法を改良し以て採掘するに及へは日々五六千噸位の石炭を採掘するは蓋し別に困難と云ふ程の事には非るへし但し炭山の經營に於て困難なるは寧ろ技術以外の事務即ち敎育の事、衞生の事、警察の事等に在れば將來の撫順に於ても是等の點に於ては豫め十分の注意無からさる可らす

▲炭坑衞生と飮料水 炭礦地方に良水の湧出するは炭礦家に於ては喜ふ可き事に非れとも撫順は其採炭地方には固より良水ある無しと雖も附近の前方に當り良水の湧出する部面あれは衞生上に於ては少しく安んするに足るへし

▲撫順の將來と電氣力の應用 撫順の將來は必す蒸氣力又は電氣力の應用を免る能はす然れとも蒸氣力は今日に於ては最早時勢遲れ也大戰爭の紀念物、世界一の炭山に應用する所の者は須く電氣力ならさるへからす想ふに撫順に電氣力の應用せらるゝ時は其の發電所は渾河ならんか渾河の適當なる場所に發電所を設置して採掘するに至らんか撫順の面目は爲に一變せん也云々

●**奉天近狀**

▲商況と大豆在高 最近歸客の談に曰く目下奉天邦人側に見れは物貨は一体に潤澤なるも需用之に伴はされば商況は甚た沈靜也、更に淸人側に觀るも畧は復た同し尙は昨今奉天に在る豆類は約鐵嶺の十分の一にして其石數五万石前後也

▲奉天將軍の銅買入 奉天將軍は目下頻に銅を買入れつゝあり過日來大連より輸送中也聞く所に依れは今回の買入斤數は五十万斤なりしとか尙は大連の外にも契約濟の銅ありと云ふ或は天津地方ならんか

▲銅貨の鑄造と小錢の交換 銀元局倂に機器局は市內大東邊門內に在り以上將軍の買入に係る銅は蓋し此所に於て銅貨に鑄造し以て小錢に換へ市場に流通せしむる者ならん但し此の流通の交換は固より今日に初りたる企てには非す

▲道路の淸潔と衞生の完備 奉天の視察に於て旅客の最も愉快を覺るは道路の始終掃除の行屆き極て淸潔なるに在り其他衞生は一体に凡て能く行き屆き居る如し言ふ迄も無く之れ軍政署の周到なる注意の結果とす此點に於ては旅客は勿論住民も一体に其注意の周到を感謝するに躊躇せさる所也

●**過爐銀と公議會員**

過爐銀問題に關し其の發行者たる銀爐等か頗る樂天的意見を保持せるは前日の紙上に於て報導せる所なるか今ま又た聞く所に依れは營口公議會の會員連中の意見も亦た大同小異にて甚た樂天的なりと云ふ過爐銀か現在に於て甚た危險なる流通貨幣なる事は

（一）本來の性質が兌換に在るも發行者たる銀爐の庫中には兌換の正貨無き事

（二）交換の媒介、價格の尺度たる重大の任務あり其善惡は直接に一般公衆に大影響を與ふる者なるに其の發行者たる銀爐を監督し其取扱を監視する者あらざる事

（三）三個月に一度の決算は一面に於ては過爐銀の兌換券なるを立證し更に一面に於ては其發行者たる銀爐か兌換の約束に違反せす信用の最も確實なるを證明し以て過爐銀の信用を最も確實にし其の流通に於て社會に寸毫の不安を覺へしめさる可き最も大切なる期日なるに銀爐か其の任意を以て理由無く決算を延引する事

（四）交換期に於て交換せられされは即ち交換の性質を失ひ不換紙幣と其類を等ふする者而して過爐銀か兌換券たると不換紙幣たるとは其の價格に於て非常の相違あり而して其の價格の變動の爲に直接に損害を蒙る者は過爐銀の所有者にして間接に利益を殺がるゝ者は一般の債權者也即ち銀爐に於て一朝其交換を怠らは酬るに足るへき十分の制裁無からさるを得す然り而して實際に於ては少しの制裁もあるなし於是彼等は一度更に一度と其交換を怠つて平然たる事

（五）銀爐の不信今日に達し換言すれは交換即ち決算を約束して發行して而して決算日に當りて決算する能はさる一再ならす延期に續くに延期を以て今日に及ひ尙は且つ新に過爐銀を發行せんとするの意思ある事

（六）多くの負債を有する者か商賣に從事する時は勢ひ投機心を生せさるを得す今日の銀爐は公衆に對し身分不相應の負債を有する者然かも彼等は依然として商業に從事せる事

等に觀るも明也、過爐銀の發行者たる銀爐が樂觀的主張を敢てするは寧ろ當然と云ふへく以て不思議と爲すに足らすと雖も公議會の會員等か又た倣ふて其主張を同ふするは奇怪至極と謂はさる可らすと云ふ者あり曰く公議會の會員等は銀爐と最も深き關係あり、即ち强硬の說を唱へ其結果銀炉の閉店を見るに至らは損害の幾割は自己も亦た其の分擔を免る能はす彼等と雖も今日の銀炉か危險の狀態に在るを知らさる者に非す其危險を知つて而して危險を唱へさるは唯た此の關係あるか爲也と失れ或は然らんか想ふに過炉銀の存廢に對し公議會に其意見を諮ふ如き宛も賊に付て戶締りの方法を聞くの恐れ無しとせす在留同胞、就中實業協會の日本側委員たる者は緊褌一番以て過炉銀に對し今日の好機を利用し最後の解決を與ふる事最も肝要也

●**臨時事件公債募集取扱** 今回政府か三十九年法律第一號に依り募集する臨時事件公債二億圓は本年より五個年間据置き其翌年より向ふ二十五個年以內に償却する者にして其利率は一箇年百分の五也而して應募申込期間は本月二十八日とす應募者は應募高、應募價格及ひ住所氏名を詳記したる申込書に申込高百圓に付き金五圓の保證金を添へ正金銀行支店に申込めは其取扱を爲すへしと云ふ因に本公債の應募は第四圖及第五回國庫債券を以て拂込の現金に代用する事を得、尙は本公債に限り所得稅の納付を免除せらるとなり詳細の規程は三十九年二月廿日の官報號外大藏省令第八號に記されあり就て見るへし

東西南北

●**戰爭と生命保險** 生命保險事業は一方に戰爭の打擊を受くると同時に他方に生命保險の各人生活に必要缺くへからさるを知らしめ保險料總額の如き三十七年に於て八百十六万餘圓なりしか卅八年には九百万圓を超越し本年は優に一千万圓を超越すへき見込なりと云ふ

●**露國俘虜給養費** 日露兩國の俘虜交換受授は既に結了したるを以て俘虜給養費決算の協議も兩國の間に開始せらるへき機會となりたるか右は便宜上露都に於て協商を開き本野公使其任に當る由なるか差引日本の受取るへき給養費額は約八千万圓位ならんかと云ふ

●**露國懲戒委員會** 露國海軍省は三種の委員を設け夫々委員を任命したり其一は日本海々戰に關する調查委員會其二はネボカトフ提督の指揮せる艦隊降伏事情調查委員會其三は水雷艇ベドウオイ號降伏調查委員會にして就中第二の委員會はネボガトフ提督艦長グリゴリエウ氏イシン氏スミルノフ氏の四名を被告として起訴するに決せりと云ふ

●**樺太の漁期告示** 樺太民政長官よりの發電に依れは鮭鱒鰊の漁業特許者に對し本年漁業開始期日を左の如く告示したり

一鮭、鱒漁業は明治三十九年六月十五日より開始する事

一、鰊漁業に在りては左の如し

東海岸	明治三十九年四月廿五日	
アニワ灣	同	年四月十五日
西海岸	同	年四月十日

●**損害救濟の請願** 貿易商杉浦龍吉外十一名より多田作兵衞、島津良衞、江藤哲藏、池田惟貞、川原茂輔、神崎東藏、佐々木正藏、梅野初賀の諸代議士の紹介を以て此程日露戰役に於ける個人損害救濟の請願書を衆議院に提出せり

●**伊藤侯腰を打つ** 伊藤統監は軍艦和泉にて渡韓の途に上りしが中甲板上にて椅子に跨りて讀書中風波高かりし爲め其椅子倒れて左側に轉覆し爲めに大事の腰を打ちて一時痛みを覺えしが小山氏の手當もありて甚しき事なく釜山上陸の際は幾んと快復の模樣なりしと

●**遞信省內の淫風** 猥褻の風は今や殆んと上下の總てを風靡しつゝあるか遞信省の如き現に某局の一屬吏某といふもの同省裏の某給はがき屋と結托して春畫を省內に持込み各部局を行商し居るものあり遞信省と云へは例の女子計算員を多數に雇入れある局もあれはかゝる淫靡の風は嚴格に戒飭せさるへからすとは同省官吏中の憤慨談なりと

●**香渡中佐の死亡** 步兵第二十三聯隊長香渡中佐か香川聯隊長と激論の末割腹せりとの報に對し今ま凱旋の聯隊長代理竹內中佐の談に依れは香渡聯隊長は十二月三十一日西五臺子に於て結氷地の冬季工事演習を副官及ひ傳騎と共に馬上にて巡視中乘馬氷に辷へりて馬と共に倒れ頭部に重傷を負ひ腦震盪を起し人事不省となりしも川崎軍醫の治療にて一時蘇生せしが四日午前一時遂に死亡せしなりと

大車行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上十二、一八	下六、二〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至[illegible]	下二、四〇	下八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	一〇、〇九
[illegible]	發	一〇、二九

上り列車

驛名	着時刻	發時刻
遼陽	着午後 三、五〇	發 四、五五
大石橋	着 一〇、三三	發 一一、三五
金州	着翌前 二、二〇	發 三、一〇
大連	着 五、三三	

營口線

上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	[illegible]
大連	着	五、[illegible]

下り列車

驛名	發着	時刻
營口	發午前	一、〇〇
大石橋	着	[illegible]

天氣

營口地方天氣豫報 自三月九日午後六時至三月十日午後六時

[illegible]

小説

新作小説 おとし胤（十一）

徳田秋聲

春の曙、淡く東の空からほの〴〵とするかと見れば、鷄の聲一しきり、やがて小御門村の夜は全く明放れた。うす霞、花にも、家にも、流にも、森にも、野にも山にも遠近となく、淋漫ツて、紫匂ふ春の野の朝景色。日はもう、國境の山の嶺を離れて、今日もまた日影美しう麗な天氣である。

雲雀は、若草の巣を離れて、高く大空に舞上る時分、光は眼を覺まして、幻心に何やら考へながら、顔を洗ひにと、家の横手を流れる小流の岸に立ツた。眠ツたといふものゝ、殆ど終夜祖父樣と語り明して、曉近い頃にとろりとしたゞけ。されば瞼重げに、顔の色も蒼ざめてゐる。

彼女は、昨日の朝も、此の流の岸に立ツたのであるが、其の時の心と、今の心とは、水と氷ほど違ツてゐる。仰山に謂へば、光は生れ變ツたとも謂ツて好い位。

昨日までは、祖父樣一人を、親とも、兄妹とも友達とも頼むで、此の靜な村の此の大きな家の裡に、穩な人の子の夢を見てゐたのであツた。時に母御懷慕し、父御戀しと思ひながら。

今や其の父御に逢はれる時が來た。彼女は最早生みの父を知らぬ不幸の子では無い。其の身分もまた、雲の上までゞなくとも、大分高くなツた、人間の尋常の眼から見たら、光は、其の名のやうに體が光ツて來た。誰に聞かせても、果報目出度い幸運の子である。また全く幸運の人になれるのかも知れぬ。

雖然光は、昨日よりは心に苦惱が多くなツた。昨日までは、煩といふ煩も無かツたが、今朝は種々の煩が胸に鬱結して、ともすると歎息が出る。先づ第一に心配でならぬのは祖父樣のことである。もし自分が東京へ行ツて了ツたら、祖父樣は何うなさるだらう。病氣でも出た時は何うなさるだらう。それからまた、父樣の許へ行ツたら、何樣な目に逢はされるだらう。考へると氣懸のことばかりである。

「東京へ行かうかしら、それとも止さうか。」

彼女の決心は、尙だ定らぬのであツた。お祖父樣には、行くと立派に謂切ツたけれども、自分の本心は尙だ定ツて居らぬのであツた。

「何うすれば可いだらう、私は何うすれば可いんだか解らなくなツて了ツた。此樣な時には、誰か相談對手になツて呉れる人があると可いんだけれど……。」

と思に惱みながら、うツとりと、鏡のやうな清冽な水面を覗くと、氣の故か、何んとなく燻むだ自分の顔が、カツキリと水底に映ツた。此の流の底は礫で、水は、淸水のやうに澄むで、そして冷かである。

「誰か相談對手になツて呉れる人があると可いけれども……」

と考へながら、ふと蹲むで、流へ兩手を突込むで、顔を洗ひかゝると、誰の所爲か、急に上流の方から、櫻の花片が、龍田の川の秋の紅葉の其のやうに流れて來る。

「おや！」

と思ひながら、管はず花片諸共、兩手に流を掬んでは顔を洗ふ………指先または指の間から落つる雫は、さながらに水晶の玉のやうに旭に煌いて、水面へ亂れ落ちる。

するとまた、上流の方から、「咲いた櫻に、ね——、何故駒繫ぐ、ね——」

と鄙びた節ではあるけれども、凜とした好い聲で謠ツてゐる歌が聞える。

光は、耳を澄まして、夢でも見てゐるやうに茫ツとしてゐて、

「然う然う、好い人がある好い人がある。那子なら、屹度本氣になツて相談對手になツて呉れるわ、然うだ然うだ。健三ツて、好い相談對手のあるのを忘れてゐたわ。」

と氣付くと、光は急に、いそ〳〵して、手早く顔を洗ツて了ツた。そして手敏く鬢を撫付けてゐると、突如に、

「孃さん、お洒落してゐるだね、はゝゝゝ。」

と太い聲で無遠慮に呼掛ける者がある。

「おゝゝ、吃驚した、誰アれ？………」

と大急で、後へ振返ると、

「おツと、どツこい、此處だ此處だ。川向だよ、孃さん。」

「まア、憎らしい。健三かえ。」

「然うだ、健三だよ、はゝゝ。孃さん、吃驚したゞね。」

「そりや吃驚したわ。突如に大きな聲をして威嚇かすんだもの。」

「いや、俺が威嚇かしたんぢやない。孃さんが茫乎してゐたもんだから威嚇かされたんだ、はゝゝ。」

「そりや可いけども、健三、私、お前にね、少し相談があるんだよ。」

「俺に相談だツて、え、孃さん。」

「あゝ。私、直ぐね、門の方から廻ツて行くから待ツてゐてお呉れな。」

「面倒臭いな、それよか、俺が背負ツて渡して進げませう。」

●頭陀袋　私立大學卒業の學士には近頃巡査を出願する者が多く爲つたが此頃は又電車の車掌に就職する者が續出するさうぢや日本もそれ位に爲らなきや一等國の仲間入りが出來無いのである▲回向院も愈ゝ常設館を新築すると爲つたが建坪は九百坪で一万三千人の觀客を收容することが出來るさうぢや▲伊藤統監韓國赴任の途次山陽を過ぎ防長二州に入る、や食堂列車の献立紙を引きちぎりて書きつけたる一聯『看過二州舊封地、行聞萬歲擧童聲』相變らず威張り方が面白い▲大阪では豆腐屋が三百五六十軒あつて毎日使用原料豆が八十石である五升の豆から一尺五寸立方の豆腐が出來てそれを九十六分したものが一丁と稱するので畢竟日に十五万三千六百丁の豆腐を造くる即ち大阪市民五戶の中三戶迄は毎日一丁の豆腐を食ふのである

輓古内古堂（註記多附闕如）　黄山

其一

三十九年忽拂塵　白衣今日上靑旻
中原逐鹿曾蹉跌　異域屠龍亦潰淪
鳥囀籠間空隔世　花披盆底獨成春
死生畢竟雖天敘　失意如君有幾人

其二

横戈兩歲滯皇都　禹域山河夢裏趨
日夕望雲空臥病　春秋擲富忽摧珠
一身大志無由暢　滿腹經綸奈不須
詩唱酒酬陳迹遠　半窓風雪與誰俱

其三

一別相期酒再斟　豈知忽作絶絃琴
西窓剪燭當年夢　下界思詩今日心
脚底江山依舊在　眼中邱壑與誰尋
風流愛古人無影　籠鳥對花空好音

其四

君今棄我去漫漫　白玉樓中駕翠鸞
筆挾雲烟龍舞踊　詩成咳唾玉琅玕
忍山逢水遊蹤滅　長驛短亭題壁殘
鶴子梅妻何似感　一痕素月上空欄

共五

鴈帶訃音從故山　夜窓嘿坐涙斕斑
手委髣髴香烟外　鬢髮髣髴眉睫間
十載心交如夢破　百年恨事向誰頒
蓬萊未踊闡幽約　君獨吳淞去不還

自註、往年君曾期與河野峻岳及余探勝於蓬萊巖。不熟而止。七八故云。

投書かご

▲家族は夫婦のみにて小供無し律義なる女中至急雇入れたし御心當りの方は御周旋を賴む（姓名在社）▲或病院の近邊のチャンコロの妾は餘りチャンコロ根性を出して困まるそんなに增長すると今に天誅を加へて見せるぞ（大和魂）▲貴社の日曜紙上に營口の美味いものを書いてあつた序に料理の不味い處を書いて料理店なんて大きな看板を揭げられぬ事にしてやりたいものだ（料理屋撲滅黨）▲郵便局なんかいふものは其事務の性質として人民に接すると最も親切であらねばならぬ然るに營口の郵便局と來たら凄いお役所風を吹かして當るべからざる權幕である切手賣迄が生意氣でないか（土百姓の子）▲近頃藥種業組合とか醫師組合とかいふやうな風のものが續々出來るやうで喜ばしい現象である一騎打の功名なぞを夢見ないで同業者協心戮力以て我商權を滿洲に扶植する方法を講ずるが肝要である併し理髮組合のやうに軍票騰貴の今日何時迄も六十錢維持は寧ろ組合の害用である（公平生）

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未だ架設に至らざるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尙構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究罷在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

建築設計依賴に應ず

營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續
一鈔關手續 事務取扱（但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ）（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號　大清通運公司　營口支店

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

鐵嶺 西門外大通

御旅館 福屋 御料理

税關手續
船舶輸出入 荷物取扱 荷物保管
市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司

我々共感あり
自今禁酒仕候
戶水汪
安齋源一郎

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需應にす

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

豐濟門街李俊の前

ペンキ塗請負 京阪組

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖縄縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政罡
大清通運公司安田貞藏

同志友人 敬白

御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

本店 營口 彌生 電話四一番

支店 鐵嶺西門外大街 彌生

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主宮下只七郎

一位置 西門より西の方五六軒北側に候
一構造 室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇 は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯淸潔
接待優遇懇切
開業 放全時一關
奉天小西門外ナ街路北

會席料理 三日月

營口警務課前南に入る

御旅館

天津

芙蓉館

駐屯軍御用
並西洋料理

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

雜貨 醬油 木炭
すし米 清酒 大樽 半樽

營口西北街
阪神組

雜貨卸商
在營口元神廟街
關東公司雜貨部

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風咳嗽小兒風疹病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

ゼム 財茉 口中香藥

財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也
ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

大清國發賣處
淺野大藥房
營口永世街（二本町）
各國有名靈藥總發賣處

大日本東京
山崎愛國堂
大藥房處修

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街 ブツシ商會東

川喜鐵工場

○フレノロジー

○西洋揣骨相術 運命吉凶靈驗如神矣
○人々の頭脳を觀測して身の上はんだんをなす
○觀測料隨意

營口豐清門街第四十四號李俊氏宅の西半丁
利生堂

滿洲商家名鑑發行の趣旨

滿洲は東亞無限の一大富庫と稱せらる之を開發し之を保全するは永く極東の平和を策する所以の一端ならずんば非ず戰捷の效果之を現實せさるべからず朝野の視線一に茲に滿洲經營に傾注さる而して其責任や專ら本邦商人の双肩に懸れり然り現に各地に店舗を開張して直接實際に滿洲の商業を研鑽講究する者或は又徐ろに將來を希圖せんとして來りて準備的畫策を爲す者あり之等商家は實に滿洲開發の先鋒隊たり偵察隊たるなり吾人茲に感する處ありて滿洲商家名鑑なる冊子を發行す蓋し滿洲開發の端緒を竊ひ以て將來大發展の一助に資せんとするに外ならさる也

滿洲商家名鑑は大連營口旅順遼陽奉天鐵嶺昌圖新民屯撫順安東縣其他滿洲各地に散在店舗を構へて業を營む本邦人を普く網羅し且つ著名商店の現況を仔細に描寫せんとす將又店主若は主任者の閲歷性行等を詳錄し汎く之を紹介し以て其信用の程度如何を窺知し得るの便に供し以て商業取引の圓滑融和を圖らんとするにあり製本体裁は菊版本綴表紙總クロス三百餘頁とす一部定價銀二圓

右發行人 安齋源一郎

小生儀曩時營口人名錄編纂中の處舊職遼陽日本人會理事に招聘せられ倉皇之に赴き右編纂を中止致候處今度親友安齋源一郎君へ右編纂一切を依賴致候間此段辱知諸君へ御報告申上候

三月十二日

在遼陽 戸水注

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

旅人宿 東館
大連市信濃町卅九號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

西洋御料理

一並食 御一人前 一圓
一上等 御一人前 一圓五十錢
一特等 御一人前 二圓

此外御注文に應じ一皿三十錢以上とし仕出の御注文にも速時御間に合ひ可申候

拙亭儀元東營口川岸に於て營口亭事巴屋と稱し營業罷在候處顧客の御勸めに從ひ左の所へ移轉名を改め一層の注意を加へ營業仕候間倍舊御引立の程偏に奉希候敬白

營口永世街第五十二號（鶴の湯東面通）
牛莊亭
（電話一四六番）

時刻

唐山至天津 …
塘沽至北京 上六、〇〇 下一二、〇六
天津至北京 上一二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五

天津至山海關 …
唐山至山海關 上六、〇五 上一一、五八
山海關至營口 上七、〇〇 下四、五五
溝邦子至新民屯 上三、〇〇 下六、五七

奉天 上り列車 着午後 一二、〇六
奉天 發午前 一一、〇〇

驛名 發 着 時刻
大連 發午前 七、三〇
旅順 着 一〇、四九

營口 發午後 十…
大石橋 着翌前 一二、二〇

宮門抄

十六日　兵部　太僕寺　廂白旗值日　吏部引見四十二名　車王謝開去乾清門行走並前引大臣　恩　桂公請假十日　召見軍機　范廣衡　肅王　杜桐遞封奏各一件

上諭恭錄

十六日奉

上諭此次京察一等覆帶引見各員內除宗室海鋸陸嘉晋周嚴諏呂佩芬魏景熊余堃王廷　陳劉長明全順謙順博啓圖林景賢隆端陶福同數崇德葑善佺樂耆戈炳琦魏聯奎王世琪長潤桂森銘勳福蔭鍾音聯綬善英黃昌年夏敦復毋庸記名外宗室錫嘏着以四五品京堂用宗室定壽玉麒寶銘均着以五品京堂用宗室載林潤昌顧芳翁斌孫李士珍貴福于齊慶吳蔭培趙惟熙李傳元沈曾桐陳伯陶夏孫桐全興榮肇傳嘉年徐承焜朱有基卓孝復魏震劉元弼李春濤英徐奎弼文綬傅蘭泰李馨國李經野沈潛程利川劉果玉山景清高樹胡遠燦恩潤來秀英勛英秀曾鑑段書雲徐宗溥英俊瑞齡嵩連王毓芝于宗潼祿顯元瑞景濂吳煦雙壽成昌杜本崇常清孫紹陽均着交軍機處記名以道府用欽此

上諭周馥奏特叅庸劣武職請分別懲處一摺南洋常備軍第四標第二營管帶補用　將易隆僑短發餉銀貪鄙無恥着革職發往軍台効力贖罪吳淞砲台總台官候補都司陶鼎侵蝕截曠貪婪胆大着革職發往新疆効力贖罪淞南營遊擊周廣才老邁昏庸着勒令休致安徽撫標、軍叅將尹嗣興南匯營遊擊曹廣榮潛山營守備薛鴻範人地均不相宜着一併開缺另補餘着照所議辦理該部知道欽此

奏議

商部奏爲粤東紳商籌辦新甯鐵路擬准先行立案恭摺仰祈　聖鑒事竊臣部於上年秋冬間迭據署右丞王清穆函稱據廣東新甯縣紳商墟運使職銜陳宜禧廣西試用州同余灼稟稱職等籍隸新甯擬立公司籌辦本邑鐵路自新昌起經邑城冲蔞斗山至三夾海地方止計華里九十餘里上年六月間邀集邑紳提議籌辦當經刊布招股附工各單啓由宜禧前往美屬金山各埠勸集華股陳說利益各商極爲踴躍計集成的款一百五十餘萬兩本年八月回華先匯一百萬元分存香港匯豐渣打兩銀行餘欵備訂購機件陸續應用而香港新加坡各埠華商以及新甯本邑紳商入股者亦復不少統計所集華股約在二百萬元以外現設公司名曰新甯鐵路公司擬俟此路工程竣事核計餘款續招新股再議接展以廣公益爰於十月間邀集地方官紳公同酌議悉照金山各埠附股華商來函公推職宜禧爲總理職余灼爲副總理備具章程圖說稟請咨部核定奏請立案並請電咨兩廣總督飭屬切實保護勸導以便迅速開辦所有購運機件物料仍一律照章完稅其餘未盡各事宜容再隨時續稟各等語清穆前以考察商務行抵廣東接見該職商陳宜禧悉其人甚樸誠家道殷實在美國金山各埠承辦鐵路工程先後四十餘年於築路情形較有把握默念路權所至爲國家富強之樞即爲地方根本之計該職商兩年以來奔走勸勉招集各埠及邑華商股款二百餘萬元忠愛之忱溢於言表現既來滬具稟應請奏明立案以便尅日開辦等因臣等正在核辦間又接准出使美國大臣梁誠電稱陳宜禧籌辦新甯鐵路苦心經營募集鉅欵確有把握應請責成專辦等語是該職商陳宜禧之誠信遠孚資本的實核與臣部署右丞王清穆函稱各節相符當經臣等與兩廣督臣岑春煊函電相商旋准該督臣電稱此路由華商自辦以本邑之資財辦本邑之鐵路自屬可行惟一切辦法是否與定章相符應候核辦續准電稱細章係援潮汕辦法內有應商數條請部核定各等語臣等伏查該職商陳宜禧請辦新甯鐵路自行修築洵足創開風氣保全利權於路政商務均有俾益合無仰懇　天恩俯准立案以重路務恭候　命下當經臣等將原訂章程詳加核定飭令迅速勘辦一面咨行兩廣督臣飭於路綫所經之處由該管地方切實保護並出示勸導鄉民俾無撓阻庶幾易於施工俟全路工竣應請照章奏請　獎勵以資觀感至所稱事竣核計餘欵續招新股再議接展一節應屆時再由臣部查看情形奏明辦理所有籌辦新甯鐵路擬請先行立案緣由謹恭摺具陳伏乞　皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏光緒三十二年正月二十一日奉　旨依議欽此

中外要聞

●法國要求廣西駐兵　法國欽差昨照會外部略稱廣西駐兵不能撤退貴國匪黨仇敎華官不能保護此後廣西敎會均歸本國駐兵保衛等語

●希臘敎徒註册　新疆巡撫電致外部云悉來電查希臘敎徒一千七百三十名口現另編册存儲特此先馳電大部云云

●商辦蒙地練兵事宜　聞官場消息鐵大軍機與肅邸議商蒙地要隘練兵事宜甚爲秘秘昨與北洋大臣袁宮保電商但袁宮保尙未覆電云

●整頓警務　政府電飭各省督撫實力整頓警務廣派偵探嚴查匪黨出示解散等語昨上午十點二刻發電

●稅司條陳已准　日前海關總稅司至外部求外部堂官代遞條陳一件已由外部代奏奉　旨允准聞係整頓各省釐金分別加稅及各省土藥進關辦理之法不日當見明文

●派員查辦南昌敎案　外務部近與駐京法使磋商謂南昌敎案已有　旨著地方官嚴拿首要自當聽候該省查辦此刻切勿遽派兵艦駛赴南昌免致居民驚擾別生枝節聞呂使業已允許又聞法使已委派北京使署叅贊一員英使委派上海之英領事前往中國則已由北洋大臣電奏派津海關道梁敦彥觀察前往南昌會同商辦聞梁觀察已定於十三日起程所遺津海關道一缺以蔡述堂觀察代理云

●飭查陝州匪徒滋事　陝州匪黨前經政府電致豫撫飭屬勦辦現聞法使復有函達外部謂河南陝州府匪徒滋事已有敎堂被焚敎民被害恐地方官力量不及請電飭豫撫派兵前往彈壓切實保護等語外部已電致陳小帥迅速查明滋事情形據實電復

●整頓漕運　聞有某京卿條陳粮船夾帶私墟多由土豪豫買私墟窩囤河干勾串售買等情嗣後天津所屬地方令直督會同運使實力緝拿其沿河地方飭各督撫提鎭嚴飭文武官弁凡粮米經過關卡派兵役稽查如水手私代貨物以及土豪窩囤情弊一面查拿按律重懲不貸云云又政府諭飭漕米到淮盤驗潮濕霉變將經徵州縣各官照例應革職監兌官應照溺職之例議處如運軍潤行收兌照例革職留任俟各粮到倉應令倉場侍郎按數稽查如有虧折勒限賠補限內不完奏叅革任追賠云云

●官設賭局之傳聞　聞巡警部大臣現在籌措經費維艱日前會同商部振貝子擬在京師五城地面每城添設賭局一處仿照天津保府章程辦理按月抽捐茲聞振貝子諭飭各局舉出公正廉明紳董出具甘結飭紳董總管納捐先將章程呈送商部查核妥飭領執照聽候批示方准開辦云云

●愼重路礦　聞商部堂官會議因各省路礦紛紛開辦原謂保護利權難免有外人窺伺不得不設法預防以昭愼重擬飭通咨各省督撫再行推廣學堂研究路礦事宜以備將來任使

●翰林院催欵　聞翰林院衙門前經由各省隨餉解到本院經費銀一萬五千兩尙屬不敷需用昨已電催各省即將認解欠撥之欵如數解清勿再遲緩延宕云云

●膏捐成効　聞柯逢時大臣前經奏請辦理八省膏捐現聞已試辦兩廣四川等三省膏捐均有成効除止額足款外所得盈餘五十餘萬現已知照戶部矣云云

雜報

●午眠被竊　揚武門北有居民李姓兄弟家稱中貲家室亦皆操勤昨午嫂娣二人身倦午眠適有竊賊掩入幸櫃箱鍵鎖未得啓鑰悄翻奩具諸匣一切盜去赤金墜環首飾等件幷將案上衾褥袍上新衣括一巨捆軒昂荷出時遇李之戚屬某於路瞥見該賊年二十餘乃頭戴六頁圓巾身穿羽毛黑　足着絨靴未肯盤問迨二婦醒覺訝門豁開始知被賊竊去諸物時已追賊不及矣

●火車來貨　昨由靑泥窪鐵軌運來洋線四十餘捆至牛家屯卸用馬車御進埠內由河北鐵軌運來紅糧千餘袋包瓜子二百餘包花生菓二百餘包卸用爬車拉運埠岸云

●演說會之成績　營口萬國演說會之第三次演說大意注重興學已誌本報頃聞本埠鉅商東盛和號葉君亮卿擬開立英文館一所已向香港電請某君爲西文敎員月籌薪水一百二十元不日開辦敎育之興演說之益蓋大矣哉

笑林

●入地　佛經云我不入地獄誰入地獄黎紳被逮叅透此旨怡然自得某甲見報紙上有此語甚爲疑駭走問於乙曰春雖多雨地豈遽淋(借用)獄在地中地何能入乙曰以柴令剷去地皮耳地既無皮又何難入甲復問曰水銀瀉地無孔不入以其爲流質也若人則身軀胖偉地即無皮亦豈能遁入耶乙曰此亦易易柴令不特能　地皮並能剝人皮地皮既　清人皮又剝去以無皮之人入無皮之地何謂不能

●坐局　官府押禁監犯曰坐監豫紳武斷鄉曲曰坐局二者不能牽之使合也有某狂士獨對人言曰今之鄉曲豪紳藉坐局以魚肉鄉民者皆抵坐監此次黎紳被逮留在南路北局名爲坐監實則坐局坐監坐局雖不能混稱而在武斷鄉曲之豪紳則即明坐局吾謂其終不免於坐監若在爲鐵路代表員因公被逮之黎紳則既稱入獄即爲坐監吾亦不忍以坐監名之亦名之曰坐局而已

豫報

昨日氣温

昨日の氣温　最高温度四十八度　最低温度二十六度

昨年との比　高六度　高一度　高二度七　〇

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MARCH 14, 1906.

The Russo-Chinese Conference. (Part VII.)

What can be the revision of the Chinese Exclusion Bill to China, when every nerve must be strained upon dislodging the Russian Octopus from Manchuria first, and all along the frontier of Mongolia and Ili, when order must be shaped out of the hereditary chaos in every branch of internal administration, and when the fixed principles of a new autonomic government formulated with foresight, good sense, and skill, must be making an auspicious beginning in their inaugural execution?

Did China ever imagine that the United States, or last of all Americans, President Roosevelt required strong diplomatic representations, much less questionable popular demonstrations like the Boycott movement, in order to secure the redress of any real grievances that are laid at the American door? With some other Powers in the place of the United States, what graver complications might not have followed the Lienchow Massacre? What other Power has ever talked of renouncing the remaining $21,000,000 of the Boxer indemnity? If these instances of moderation and generosity were to be interpreted by any Chinese statesman as a conciliatory response reluctantly given to the Boycott agitation, his gross ignorance of the American temperament alone would make him unfit to hold any responsible government office.

Apart from those comparatively trifling wrongs mostly invited by China's own shortcomings, how much have those two mighty Powers done to her positive good in time of peace and out of it? And yet, whatever has China been exacted by either in return? Knowing their stable foreign policy of broad justice and humanity, what the devil must have possessed China to turn to them first of all, assuming the airs of an injured chevalier, and, to persist apparently in doing everything to alienate their priceless sympathy, if not to seriously provoke them?

For Heaven's sake, do quit being taken in, like a silly fool, by the rabid utterances of those irresponsible journalistic hornblowers, who, as hireling mouthpieces of her masked scheming enemies, have their own axes to grind, in springing up at random a thousand and one false alarms and casting every conceivable slur upon the few friends China has got left in the world.

It will be playing right into the former's fatal game to forfeit the latter's friendship by all manner of provocations born of impudence or unwarranted suspicion, and so lay down her isolated self at her enemies' mercy, besides dissipating her all too precious attention at the present crisis on those insignificant minor affairs, in neglect of the other questions of the most vital consequences to her very existence and destiny, the foremost of which is the successful and speedy conclusion of the Conference now in progress at Peking.

Dr. Wendschuch, Acting Consul for Germany at Tientsin, arrived here last Monday evening and has registered at the "Manchuria."

Lt.-Col. Yokura, the Administrator, is reported to leave Tokyo for Newchwang about the 21st. inst.

The Winter Amusements Committee will promote a social at the Assembly Rooms at 9 p.m. sharp to-morrow (the 15th.)

The latest Tokyo advices state that M. Grosse, formerly Russian Administrator and Consul at Newchwang has been appointed Consul-General at Yokohama, and is expected at his post shortly. It is given out on reliable authority that Gen. Baron Kodama is to be raised to the Chief of the General Staff and succeeded in the Governor-Generalship of Formosa by Gen. Viscount Sakuma.

Bar silver has gone down to 29s. affecting the exchange market correspondingly.

Exchange Quotations—(Mar. 13, 1906).

Japan	Bank T.T.	97½	London	Bank T.T.	1/11¾
	" Dem'd	97¾		" De'd	1/11 13/16
	P'ate 15 d/s.	98½		Cr. 4 m/s.	2/- 7/16
Shanghai	Bank T.T.	71	America	Bank T.T.	48⅛
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	48⅜
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	49⅞
Tientsin	Bank T.T.	102¼	Bar silver	- - -	29
	" Dem'd	102			
	P'ate 10d/s.	101			

營口旅館料理店案内（いろは順）

- 旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號
- 旅館　第二營口ホテル　河岸通り
- 料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主 粕屋忠兵衛
- 料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎
- 旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉
- 料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎
- 旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程
- 料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏
- 料理　沖の島　永世街百六十五號　店主 中川彌三郎
- 料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好
- 旅館料理　高砂ホテル
- 料理　高砂亭　西北街　店主 片山小みつ（電話一四五番）
- 旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二
- 旅館　大和館　永世街十一號　店主 前田九一郎
- 料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一
- 料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助
- 料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡　店主 和田常松
- 京東 生蕎麥 一式　東庵　元神廟（電話百五十九）
- 旅館　金城ホテル　永世街百六十六號
- 料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎
- 料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

- 料理　喜樂亭　營口元神廟街
- 旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎
- 營口軍政署御用旅館　東雲　主任 谷口今朝太郎
- さるそば　第一更科　營口元神廟街
- さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角
- 御料理　柳亭　叮嚀專一　豊濟門街二三　店主 玉岡益人
- 御料理　一力　並ニ溫泉 毎日新湯　營口永世街　店主 堀万助
- 和洋料理　本店 松月亭　營口元神廟街一四三号
- 和洋料理 御旅館　支店 滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

- 旅館料理業　營口ホテル支店　主任 井上源吉
- 御料理會席　菊水館　主任 朝枝園捷
- 旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉
- 旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基
- 御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟
- 御料理 色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎
- 旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉
- 遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

會席　玉家　主任 西野治三郎

御料理 會席　來々亭　主任 石田清

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓 仲居　新來
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理
高等御旅館
金城館

旅館 富喜樓
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街
樓主敬白

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

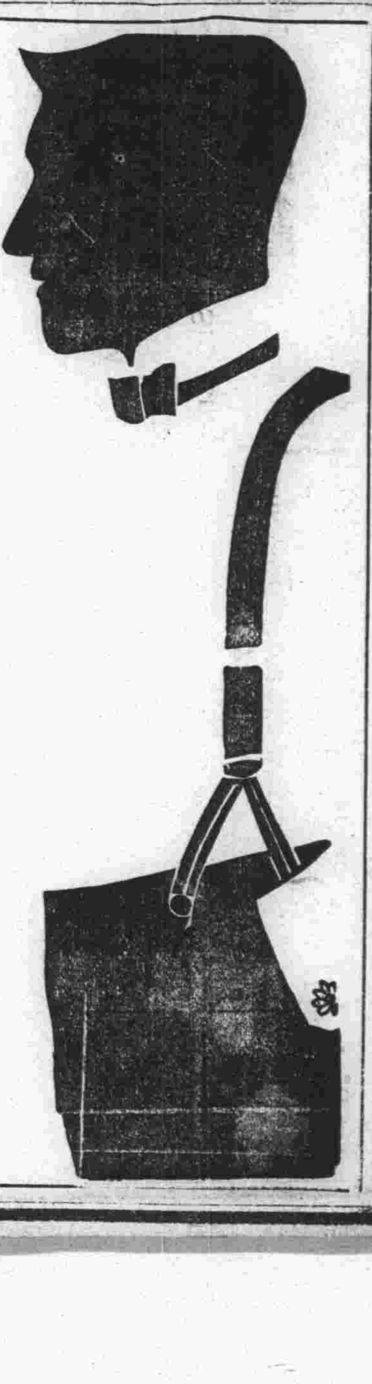
お料理 滿月 平の町（電話）
滿月支店 平安（元都督跡）
店主 吉本勝惠

和洋 會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位樣

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●活動大寫眞
●日俄戰況幷ニ餘興元錄踊等種々

電話開通 百九十番
大日本大阪谷回春堂大藥房
滿洲總售處
營口永世街警務課司法部前
三木洋行
回天堂大藥房

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を揭け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、
蓑入、蒔繪蓑入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 加藤洋行（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
外に北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干壚煎 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木
營口青堆子
清水寧木局

爲替相場（三月十三日）
- 日本向　九十七圓七十五錢（軍票百圓に付）
- 上海向　七十一兩四分ノ一（同）
- 天津向　一百〇二圓（百弗に付）
- 芝罘向　天津向ト仝

油豆行情（中曆二月初九日）

日本品最近物價表
紙類　加藤洋行
- 一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
- 一美濃紙　仝　七圓五十錢
- 一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
- 一塵紙　一〆　一圓七十錢
- 一狀袋　二十枚綴　三錢二厘以上四錢
- 一仝　百枚　十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具　矢野洋行
- 一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
- 一座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓
- 一暖爐　五圓五十錢以上十四圓
- 一疊　二圓六十錢以上三圓
- 一薄椽　十枚入　三圓
- 一麻緞通　一疊敷　三圓
- 一綿緞通　仝　三圓五十錢
- 一由加多織　仝　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
- 一枚ニ付　銀四仙
- 一ヶ月前金　銀八十仙
- 半ヶ年前金　四弗八十仙
- 一ヶ年前金　銀九弗六十仙